

一般社団法人ラテンアメリカ協会

# 2025年度定時会員総会

## 資料



# 一般社団法人 ラテンアメリカ協会

〒100-0011 東京都千代田区内幸町 2-2-3 日比谷国際ビル 120A(1 階)



一般社団法人 ラテンアメリカ協会

## 第13回定時会員総会 次第

日時 2025年 6月25日(水)16:00～17:00

場所 外務精励会大手町倶楽部

東京都千代田区大手町1-8-1 KDDI大手町ビル2階

### 1. 開 会

### 2. 審議事項

- 第 1 号議案 2024年度事業報告書の件……【報告事項】
- 第 2 号議案 2024度決算書類承認の件……【決議事項】
- 第 3 号議案 2025年度事業計画の件………【報告事項】
- 第 4 号議案 2025年度収支予算の件………【報告事項】
- 第 5 号議案 理事・監事選任の件………【決議事項】
- 第 6 号議案 定款変更(顧問増員)の件……【決議事項】

### 3. その他

### 4. 閉会

## 一般社団法人ラテンアメリカ協会

### 2025年度定時会員総会 議案説明書

<b>第1号議案</b>  2024年度 事業報告書  <b>【報告事項】</b>	<p>定款の規定に基づき、「2024年度事業報告書」は理事会で承認済。</p> <p>会員総数は期初の379に対し48増の427団体・個人。内訳は、法人会員が10社増の81社、個人会員27名増267名、在外会員2名増41名、学生7名増13名、他は変わらず。</p> <p>事業活動では、新規事業として、協会提言『今こそ中南米の重要性を再認識し関係強化を図れ』を公表し、岩屋外相他関係方面に手交した。また、法人会員経営層を対象とする第1回「トップセミナー」を開催、同セミナーは今後も開催する。</p> <p>新春懇談会（1月29日@三菱クラブ）、ラテンアメリカ・サロン（2月26日@三菱クラブ）に加え、Inter-American Dialogue共催セミナー（10月9日@ワシントンDC）を開催した。</p> <p>講演会・セミナーは、協会主催11回、共催・後援で3回の計14回開催。前年度はすべてオンラインであったが、2024年度はうち2回ハイブリッド形式で実施、今後対面・ハイブリッド形式を徐々に増やしていく。</p> <p>大来記念ラテンアメリカ・カリブ政策フォーラム、ラテンアメリカ関連団体連絡会議は、従来通り年4回開催した。</p> <p>季刊誌「ラテンアメリカ時報」は、タイムリーな特集を組みつつ発刊した。</p> <p>ホームページの体裁を刷新し、内容の充実を図った。</p> <p>研究所レポートをホームページに掲載し公開した。</p> <p>メルマガの定期配信を行った。</p>
<b>第2号議案</b>  2024年度 決算書類承認  <b>【決議事項】</b>	<p>&lt; 予算比：収支計算書より &gt;</p> <p>2024年度の収支で2024年度予算比の差が大きい項目について。</p> <p>「収入」：</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・「法人会員費」が予算比約24.5万円減となったのは、予算上6.5口増（45.5万円増）としていたが、2024年度に入会した9社12口は、入会時期が下期以降に集中したため、年会費半額や無料の適用となり、結果として3口相当の21万円の収入に留まり、3.5口（24.5万円）減となった。</li><li>・「広告収入」はラテンアメリカ時報の広告主の退会に伴い、年間広告費10万円が減少。</li><li>・「雑収入」は予算（130万円）で主にIAD関連の収入（120万円）を見込んでいた。IAD関連以外の収支では支出が上回る予想のため、収支差額相当分を支出の項目で予算化していた。実際にはIAD関連で2社の協賛金30万円が追加さ</li></ul>

	<p>れ、IAD以外のイベント、即ち、「新春懇談会」「ラテンアメリカ・サロン」「トップセミナー」「関連団体連絡会」の収入（それぞれ48万円、36万円、92万円、5万円：計181万円）が適用されるため、これらイベント収入が予算比約200万円増。</p> <p>「支出」：</p> <p>「事業費」が予算比226万円増となった大半の理由は、収入で説明した「雑費支出」としての「イベント関連」の支出による予算比217万円増となる。即ち「雑費支出」で予算ではオープンハイマーレポート30万円他、IAD含む講演会関連支出として70万円、計100万円を見込んでいたが、イベントの支出（IAD68万円、新春懇談会114万円、ラテンアメリカ・サロン 0、トップセミナー82万円、関連団体連絡会9万円、合計273万円）とオープンハイマーレポートの約30万円、ZOOM関連費用12万円の計約317万円となり、予算比217万円増になった。</p> <p>「管理費」としては、「謝金」が予算比約27万円増となったが、対面の講演会や追加の対面セミナーなどのため、事務員2名が就業日でない日に就業するなどのため、謝金が増えたことが最大の要因となる。理事費は協会のワーキンググループ活動の活発化に伴い、渉外関連支出が増えたことに起因し、約10万円の予算比増となった。一方、旅費・交通費や雑費支出は予算比以内に抑えることができ、結果、管理費は予算比約9万円増となった。</p> <p>以上により収支差額として約185万円の赤字となり、予算比では約65万円の赤字増となった。</p> <p>差入保証金（約2万円）はオフィス賃貸が2024年6月より新たな3年間の契約となり、賃貸料上昇に伴う3か月の敷金の前3年間の敷金との差額となる。</p>
<p><b>第 3 号議案</b></p> <p>2025年度 事業計画</p> <p><b>【報告事項】</b></p>	<p><u>定款の規定に基づき、「2025年度事業計画」は理事会で承認済。</u></p> <p>6年前の「2019年度事業計画」で承認された当協会の3コア事業、即ち</p> <p>①ラテンアメリカ情報の集積・発信（Information）</p> <p>②ラテンアメリカ情勢等の研究・提言（Think Tank）</p> <p>③出会いと交流の場の提供（Networking）の充実強化</p> <p>の実施7年目となる。</p> <p>2025年度事業計画案は、特に2024年度の決算状況を勘案し、次の点が追加された。</p> <p><u>1. 基本方針（3）</u></p> <p>「また、協会活動発展に対応した財務面や体制面の強化についても引き続き検討を進める。」</p> <p>更に、2022年度半ばから導入した次の5つのワーキング・グループ（WG）での検討をベースに常務理事会での協議を経て事業の推進を図って来た。</p> <p>①渉外・ネットワーク拡大WG</p> <p>②Webサイト充実・改善WG</p> <p>③講演会・セミナー等イベント企画WG</p> <p>④「ラテンアメリカ時報」編集・企画WG</p> <p>⑤ラテンアメリカ・カリブ研究所WG</p> <p>その結果、協会イベントに新たに「トップセミナー」が加わり、又、法人会員増加のための</p>

	<p>活動が活発となった。又、2024年12月26日に『今こそ中南米の重要性を再認識し関係強化を図れ』とする政策提言を岩屋毅外務大臣に提出したが、これに関連、次の点が事業計画に追加された。</p> <p><u>2. 主要な事業計画（WGに即して）</u></p> <p>「2024年12月26日に岩屋毅外務大臣に提出した政策提言をフォローアップし、これを通して上記取り組みの実現を図る。」</p>
<p><b>第 4 号議案</b></p> <p>2025年度 収支予算</p> <p><b>【報告事項】</b></p>	<p>定款の規定に基づき、「2025年度収支予算」は理事会で承認済。</p> <p>&lt; 2025年度予算/2024年度決算実績比：収支予算書 &gt;</p> <p>「収入」「支出」とも本年3月時点の2024年度実績見通しと同額、或いは2024年度予算と同額とした項目が多いが、同額としなかった事項について、2024年度決算実績と比較すると次の通り。</p> <p>「収入」：</p> <p>「法人会費」で10口相当70万円増を見込んでいる。2024年度入会9社12口について、3口のみ反映された2024年度決算比、9口が純増。一方、2024年度末退会法人が3社4口。この結果、2025年度中の法人会員増加として5口見込んでいる。</p> <p>「事業収入」、即ち「時報」の売上高は、販売単価を2倍に値上げすることによる効果は約12万円増となる。</p> <p>「雑収入」、即ち「イベント関連」は、2024年度決算実績に比べ、「新春懇談会」「ラテンアメリカ・サロン」に関して、法人会員参加費の増額などで計65万円の改善を図る。</p> <p>「支出」：</p> <p>「事業費」では、「謝金支出」が事務局長交替に伴う謝金アップなど増額となる。</p> <p>「雑費支出」では2025年度から収入も支出もイベント関連をIAD関連のみではなく、全て盛り込むことしたが、一方、支出も定期購読の取り止めやIAD関連支出の削減などで2024年度決算実績比約96万円の減額となっている。</p> <p>「管理費支出」では2024年度予算或いは2024年度決算見通しと異なる予想をしている項目として、「謝金支出」が事務局長交替に伴う謝金アップなど決算見通し比約25万円増となる。</p> <p>「理事費」をワーキンググループ活動の活発化を見込んで従来の年間10万円を2024年度実績と同額の20万円に増額、「管理費・福利厚生費支出」が事務局長の社会保険課金増により決算見通しより20万円増額と見ている。</p> <p>上記の結果、「収支差額」は2024年度決算見通しが約185万円の赤字のところ、2025年度予算は64万円の赤字に抑えることを想定している。</p>

<p><b>第 5 号議案</b></p> <p>理事・監事選任</p> <p><b>【決議事項】</b></p>	<p>第5号議案の通り、新任理事 2名、新任監事1名を推挙する。 尚、新任以外の理事18名、監事1名は任期2年の2年目となる。</p>
<p><b>第 6 号議案</b></p> <p>定款変更 (顧問数)</p> <p><b>【決議事項】</b></p>	<p>現在、定款において顧問の定員は「10名以内」と定められているが、これを「15名以内」へと変更することを提案する。</p> <p><b>【提案の理由】</b> 協会の活動を一層強化し、その社会的意義と影響力を高めるためには、多様な分野における見識と経験を有する有力な人材の参画が不可欠。そのため、より柔軟に顧問を迎える体制を整えることが必要であると判断する。なお、2025年度については、従来の10名に加え、新たに2名を顧問として迎え、計12名体制とする予定。</p>

2024（令和 6）年度事業報告書

1. 2024 年度実績概況（4 月～3 月）

(1) 会員数

- 今年度期首の会員数 379（法人 71 社、個人 238 名、他）、期末は 427（法人 81 社、個人 267 名、他）、48 増（法人 10 増、個人 29 名増、在外会員 2 名増、学生 7 名増）。

(2) 事業活動（詳細は第 4 項「事業活動」にて報告）

- 新規：協会提言『今こそ中南米の重要性を再認識し関係強化を図れ』、岩屋外相他に手交
- 新規：「トップセミナー」開催（法人会員対象の富田前駐米大使による講演と立食交流会：11 月 27 日夕刻@東京會館 大手町 LEVEL XXI）
- 新春懇談会：在京ラテンアメリカ・カリブ諸国大使など招待：1 月 29 日夕刻@三菱クラブ
- ラテンアメリカ・サロン：駐中南米日本国大使など招待：2 月 26 日夕刻@三菱クラブ
- 米国インターアメリカン・ダイアログとの共催セミナー開催：10 月 9 日@ワシントン DC. Public Meeting 151 名
- 講演会・セミナー：14 回・累計 906 名<65 名/回>（前年度 33 回・累計 2,121 名<64 名/回>）
- 大来記念ラテンアメリカ・カリブ政策フォーラム開催：4 回・累計 102 名
- 季刊誌「ラテンアメリカ時報」発刊：4 回（春・夏・秋・冬：各 600 部）
- 「ラテンアメリカ・カリブ研究所レポート」：8 本ホームページにて一般公開
- WEB 情報発信（HP・メルマガ・Facebook）：HP 全面刷新（2025 年 1 月）
- メルマガ発信（宛先：会員＋講演会参加の非会員＋二国間友好団体事務局・在中南米日本商工会議所事務局）
- 「ラテンアメリカなるほどトーク」（非会員の参加費無料）
- 韓国外務省 Lee Jooil 中南米局長との面談：2 月 13 日 13:00-@韓国大使館

2. 組織活動

(1) 2024 年度 定時会員総会

2024 年 6 月 25 日（火） 正会員数 333 名

出席 48 名；内、会場参加 36 名（内、出席理事 16 名）、リモート参加【表決権表明済】12 名  
総会前表決権表明：委任 181、議決権行使 12；計 193 名

● 議 事

審議事項

- 第 1 号議案 2023 年度事業報告書の件・・・・・・【報告事項】
- 第 2 号議案 2023 年度決算書類承認の件・・・・・・【決議事項】
- 第 3 号議案 2024 年度事業計画の件・・・・・・【報告事項】
- 第 4 号議案 2024 年度収支予算の件・・・・・・【報告事項】
- 第 5 号議案 理事・監事選任の件・・・・・・【決議事項】

(2) 理事会

① 2024 年度<紙上>理事会

2024 年 6 月 4 日（火）

「2023 年度事業報告・決算書類の承認（書面表決）」

② 2024 年度第 1 回 理事会

2024 年 6 月 25 日（火）

第 1 号議案：代表理事、業務執行理事の選定の件

第 2 号議案：顧問の選任の件

③ 2024 年度第 2 回 理事会

2024 年 12 月 23 日（月）

第 1 号議案：2024 年度 4～12 月の事業執行状況の件 [報告事項]

第 2 号議案：2024 年度 4～11 月の予算執行状況の件 [報告事項]

第 3 号議案：2025 年度事業計画案（暫定）[報告事項]

第 4 号議案：代表理事および業務執行理事の職務執行報告[報告事項]

第 5 号議案：その他

(3) 常務理事会

＜常務理事会概要を理事・監事・顧問へメール案内中＞

① 2024 年 4 月 16 日（火）

② 2024 年 6 月 4 日（火）

③ 2024 年 7 月 29 日（月）

④ 2024 年 8 月 29 日（木）

⑤ 2024 年 9 月 30 日（月）

⑥ 2024 年 10 月 28 日（月）

⑦ 2024 年 11 月 22 日（金）

⑧ 2024 年 12 月 16 日（月）

⑨ 2025 年 1 月 22 日（水）

⑩ 2025 年 2 月 17 日（月）

⑪ 2025 年 3 月

(4) 監査報告書

● 2024 年度監査報告書：2024 年 6 月 3 日付

理事会その他の重要な会議に出席するほか、電磁的方法等で、理事等から事業報告を聴取、また重要書類を閲覧し業務の執行状況を監査し、各種計算書類と関連資料（財産目録等）、その他重要な決裁文書及び報告書の閲覧・確認するなど、必要と思われる監査を行った。

### 3. 会員状況

会員種別	2024.3 末	2024.4.1	2025.3.31	増減	会費未納者 (昨年同期)
法人会員	77	71	81	10	0 (同 0)
スタートアップ法人会員	1	0	0	—	0
個人会員	251	238	267	29	27 (同 13)
国別団体会員	10	10	10	—	0 (同 0)
在外会員	43	39	41	2	8 (同 4)
賛助会員（大使館）	14	14	14	—	0 (同 0)
賛助会員（学生）	8	6	13	7	0 (同 1)
図書館	1	1	1	—	0 (同 0)
計	405	379	427	48	35 (同 18)



#### 4. 事業活動

- (1) 新規事業：ラテンアメリカ協会提言『今こそ中南米の重要性を再認識し関係強化を図れ』公表  
12月26日佐々木幹夫会長より岩屋毅外務大臣に手交したほか、経団連、日商、学会等関係方面に手交
- (2) 新規事業：第1回トップセミナー開催（11月27日（水）18:00—@東京會館 大手町 LEVEL XXI）  
法人会員対象の講演会と立食交流会（参加者：講師、法人会員 35 法人/53 名、協会役員 13 名）  
講演テーマ：「米国大統領選挙後の国際情勢」 講師：富田浩司 前駐米特命全権大使
- (3) 新春懇談会：1月29日（水）18:00—20:00 @三菱クラブ  
駐日ラテンアメリカ・カリブ諸国大使、外務省など官庁、行政法人、法人会員、二国間友好団体、学界、協会役員：参加者 128 名
- (4) ラテンアメリカ・サロン：2月26日（水）19:00-21:00 @三菱クラブ  
駐中南米日本国大使、外務省、法人会員、二国間友好団体、学界、協会役員：参加者 86 名
- (5) 2024 年度第 10 回 IAD 共催セミナー（ワシントン DC、IAD オフィスにてハイブリッド形式）  
テーマ：『エネルギー転換と重要鉱物供給における中南米・日米協力の強化』  
2024 年 10 月 9 日（水）午後 10 時 05 分～12 時 15 分（日本時間）Public Seminar  
参加者：会場 49 名、オンライン 102 名  
2024 年 10 月 10 日（木）午前 2 時半—4 時（日本時間）Private Roundtable Session  
参加者（会場のみ）：28 名  
議題：「変化する国際環境における米国・日本・LAC パートナシップの推進」

#### (6) 講演会

##### 開催実績

	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度 (4 月—3 月)	2024 年度 (4 月-3 月)
開催回数	12	15+共催 1	24+共催・後援 2	27+共催・後援 6	11+共催・後援 3
参加人数	592	985 (共催除く)	1,437 (共催/後援 288 除く)	1,572 (共催/後援 549 除く)	663 (後援 243 除く)
収 益	30 千円	34 千円	78 千円	52 千円	71 千円

- ① 4 月 16 日 JICA2 所長報告会 参加者 67 名  
「コロナ禍から G20 に至るブラジルでの 3 年間を振り返る」  
江口雅之ブラジル事務所長  
「ホンジュラスは何処へ行くのか。JICA に何ができるのか。」  
篠克彦ホンジュラス事務長
- ② 4 月 18 日 なるほどトーク第 1 回 参加者 62 名  
「日本の古典をスペイン語の世界へー翻訳の苦勞と楽しみー」

伊藤昌輝 元駐ベネズエラ大使

- ③ 5月17日 【後援：日本ウルグアイ協会】 参加者 48 名  
「ビジネスチャンスの宝庫：ウルグアイ」  
浅利秀樹 駐ウルグアイ国特命全権大使
- ④ 5月22日 なるほどトーク第2回 参加者 54 名  
「パナマ運河の干ばつによる通航制限と世界の海運業への影響」  
Ruben Rodriguez Samudio 氏 早稲田大学法学研究科講師・パナマ共和国弁護士
- ⑤ 6月25日 （会員総会前 講演会） 参加者 36 名  
「岸田総理のブラジル・パラグアイ訪問」  
野口泰 外務省中南米局長
- ⑥ 7月9日 なるほどトーク第3回 参加者 99 名  
「アルゼンチンとアルゼンチン人を理解するには」  
相川知子 異文化理解コミュニケーター
- ⑦ 7月25日 JICA 中南米2所長 参加者 85 名  
「成長するメキシコとの絆～JICA が目指す共創～」  
坪井創 メキシコ事務所長  
「今日のエクアドル」  
三浦淳一 エクアドル事務所長
- ⑧ 10月23日 <ハイブリッド：IDB アジア事務所> 参加者 54 名（会場参加 20 名）  
「ドミニカ共和国の長期高度安定成長の秘訣とビジネス機会」  
高木昌弘 駐ドミニカ共和国特命全権大使
- ⑨ 11月14日 JICA 中南米2所長 参加者 55 名  
「東カリブ諸国から小島嶼国支援を考える」  
三村一郎 セントルシア事務所長  
「ウルグアイの現在と可能性～小さな国の挑戦～」  
山本美香 ウルグアイ事務所所長
- ⑩ 12月3日 なるほどトーク第4回 参加者 50 名  
「チリの歴史 その1」  
ピーター藤尾（連載「チリの風」執筆者）
- ⑪ 12月5日 <ハイブリッド：IDB アジア事務所>（後援：日本・パナマ友好協会）  
参加者 45 名（会場参加 15 名）  
「日パナマ 120 周年：運河の国との共栄」  
福島秀夫 前駐パナマ共和国特命全権大使
- ⑫ 1月24日 JICA 中南米2所長（後援：日本ボリビア協会） 参加者 150 名  
「ボリビアの政治・経済危機～この 20 年間の MAS 党政権の光と影～」  
伊藤圭介ボリビア所長

「コロンビア、El Pais de La Belleza、左派政権 3 年目の現状と JICA 協力」

佐藤洋史コロンビア所長

- ⑬ 3 月 7 日<ハイブリッド：IDB アジア事務所> 参加者 67 名（会場参加 14 名）

「今こそパラグアイの重要性を認識し関係強化を図るべき」

中谷好江 前駐パラグアイ特命全権大使

- ⑭ 3 月 7 日 「なるほどトーク」第 5 回 参加者 34 名

「チリの歴史 その 2」

ピーター藤尾（連載「チリの風」執筆者）

## (7) 出版事業

ラテンアメリカ時報（協会季刊誌、年 4 回発行）

- ① 4 月 25 日 2024 年春号（1446）

「特集 『日・カリブ交流年 2024』とカリブ諸国の今」

- ② 7 月 25 日 2024 年夏号（1447）

「特集 世界の脱炭素化とラテンアメリカ」

- ③ 10 月 25 日 2024 年秋号（1448）

「特集 世界を揺るがす移民・難民問題 米州大陸では？」

- ④ 1 月 25 日 2024・2025 年冬号（1449）

「特集 初の女性大統領が率いるメキシコ その課題と展望」

## (8) WEB 広報事業

- ① ホームページ

・HP 全面更新（2025 年 1 月）

- ② メルマガ：HP 新着情報等を配信（定期：隔週火曜日）

・講演会に参加登録した非会員への時限的メルマガ配信継続

・二国間友好協会・在中南米日本商工会議所等へのメルマガ配信

## (9) ラテンアメリカ関連団体連絡会議

- ① 2024 年 6 月 7 日 第 45 回ラテンアメリカ関連団体連絡会（リモート）

- ② 2024 年 9 月 6 日 第 46 回ラテンアメリカ関連団体連絡会（リモート）

- ③ 2024 年 12 月 6 日 第 47 回ラテンアメリカ関連団体連絡会（対面＋懇親会）

- ④ 2025 年 3 月 7 日 第 48 回ラテンアメリカ関連団体連絡会（リモート）

※登録団体・機関（17 団体・2 機関）

京都ラテンアメリカ文化協会、日本アルゼンチン協会、グアテマラ・マヤ文化協会、日本コロンビア友好協会、日本チリ協会、日伯協会、日本ペルー協会、日本ニカラグア友好協会、日本・パナマ友好協会、日本パラグアイ協会、日本ブラジル中央協会、日本ベネズエラ協会、日本ボリビア協会、メキシコ・日本アミーゴ会、日本・ドミニカ共和国友好親善協会、ラテンアメリカ協会、外務省中南米局、米州開発銀行（IDB）アジア事務所

- (10) 韓国外務省 Lee Jooil 中南米局長との面談：2 月 13 日 13:30-15:00@駐日韓国大使館

ラテンアメリカ協会出席者：山田彰常務理事、桑山幹夫理事、笛田千容理事、山岸豊生理事

(11) その他（後援・協力事業）：

2024 年 4 月～2025 年 3 月：なし

## 5. ラテンアメリカ・カリブ研究所

研究所所長	浜口伸明
研究顧問	細野 昭雄
研究顧問	堀坂浩太郎
シニア・リサーチフェロー	桑山 幹夫
シニア・リサーチフェロー	桜井 悌司
シニア・リサーチフェロー	渡邉利夫
シニア・リサーチフェロー	ホワイ ト 和子
リサーチ・アソシエート	飯塚友佳子

(1) 事業

大来記念ラテンアメリカ・カリブ政策フォーラム

### ①第 27 回例会

【日 時】2024 年 4 月 15 日(月) 12：00-13：30

【場 所】三菱商事会議室

【出席者】26 名

【テーマ】「ラテンアメリカ経済の動向と見通しについて」

【発表者】株式会社 国際協力銀行 審査・リスク管理部門  
外国審査部 次長 兼 第 2 ユニット長  
木田 昌宏氏

### ②第 28 回例会

【日 時】2024 年 7 月 22 日(月) 12：00-13：30

【場 所】住友商事株式会社会議室

【出席者】26 名

【テーマ】「メキシコ政治はどこへ向かうのか？：2024 年連邦選挙結果とその含意」

【発表者】早稲田大学 政治経済学術院 高橋百合子准教授

### ③第 29 回例会

【日 時】2024 年 10 月 21 日(月) 12：00-13：30

【場 所】三菱商事株式会社会議室

【出席者】25 名

【テーマ】「ベネズエラ大統領選後の国内の動きと諸外国の反応」

【発表者】株式会社ベネインベストメント 松浦健太郎 代表取締役

④第 30 回例会

【日 時】 2025 年 1 月 20 日(月) 12 : 00-13 : 30

【場 所】 日本工営株式会社会議室

【出席者】 25 名

【テーマ/発表者】

「新年のご挨拶」

塚本康弘 外務省 中南米局 南米課長

『講話：高揚なき「左派」～任期後半に向かうブラジル・ルーラ政権の現状と課題～』

濱口伸明 ラテンアメリカ・カリブ研究所長

(2) 「ラテンアメリカ・カリブ研究所レポート」(全て一般公開、日付：HP 公開日)

①2024 年 4 月 2 日

「ラテンアメリカ・カリブ地域における脱炭素化：その進捗状況、資金ニーズと政策手段」

桑山幹夫

②2024 年 4 月 22 日

「歴史から見たラテンアメリカのかたちその 7: 20 世紀前半の米帝国主義」 渡邊利夫

③2024 年 6 月 14 日

「歴史から見たラテンアメリカのかたちその 8 : 冷戦構造になる戦後の西半球」 渡邊利夫

④2024 年 7 月 24 日

「最近のラテンアメリカ・カリブ域内における移民の流れ：その急速な拡大と多様化プロセス」

桑山幹夫

⑤2024 年 7 月 29 日

「歴史から見たラテンアメリカのかたちその 9 : 権威主義体制の時代 」 渡邊利夫

⑥2024 年 9 月 18 日

「歴史から見たラテンアメリカのかたちその 10 : 民政化、中米紛争、債務危機の八〇年代」

渡邊利夫

⑦ 2024 年 10 月 18 日

「労働人口の半数が就業するラテンアメリカのインフォーマルセクター：その動向を左右する  
社会経済的要因」 桑山幹夫

⑧ 2025 年 1 月 21 日

「世界の食料安全保障におけるラテンアメリカの グローバル・プレーヤーとしての役割：  
日本への貢献度」 桑山幹夫

以 上

2024（令和6）年度決算書（案）

一般社団法人ラテンアメリカ協会

## 貸借対照表

2025年3月31日現在

(単位 : 円)

科 目	当年度	前年度	差異
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	9,098,861	9,516,418	△ 417,557
未収会費	210,000	140,000	70,000
未収金	352,495	560,000	△ 207,505
前払費用	190,190	185,500	4,690
仮払金	172,027	248,377	△ 76,350
流動資産合計	10,023,573	10,650,295	△ 626,722
2. 固定資産			
(1) その他固定資産			
差入保証金	646,000	625,000	21,000
その他固定資産合計	646,000	625,000	21,000
固定資産合計	646,000	625,000	21,000
資産合計	10,669,573	11,275,295	△ 605,722
II. 負債の部			
1. 流動負債			
預り金	26,121	16,268	9,853
未払金	92,524	120,306	△ 27,782
前受会費	3,446,000	2,183,000	1,263,000
前受金	0	2,000	△ 2,000
流動負債合計	3,564,645	2,321,574	1,243,071
負債合計	3,564,645	2,321,574	1,243,071
III. 正味財産の部			
1. 一般正味財産			
正味財産合計	7,104,928	8,953,721	△ 1,848,793
負債及び正味財産合計	10,669,573	11,275,295	△ 605,722

# 正味財産増減計算書

2024年4月1日から2025年3月31日まで

(単位 : 円)

科 目	当年度	前年度	差異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
①法人会費収入	8,550,000	8,935,000	△ 385,000
②個人会費収入	2,575,000	2,548,500	26,500
③事業収入	373,360	348,270	25,090
④セミナー収入	71,000	647,000	△ 576,000
⑤受託調査収入	14,300	0	14,300
⑥広告収入	220,000	320,000	△ 100,000
⑦フォーラム収入	250,000	250,000	0
⑧雑収入	3,260,379	1,153,205	2,107,174
受 取 利 息	6,117	125	5,992
雑 収 入	3,254,262	1,153,080	2,101,182
経常収益計	15,314,039	14,201,975	1,112,064
(2) 経常費用			
①事業費	10,096,883	8,017,068	2,079,815
諸 謝 金	3,878,491	4,018,866	△ 140,375
印 刷 費	2,255,000	2,035,000	220,000
通 信 費	675,484	385,496	289,988
フ ォ ー ラ ム 経 費	115,200	134,026	△ 18,826
雑 費	3,172,708	1,162,520	2,010,188
減 価 償 却 費	0	281,160	△ 281,160
②管理費	7,065,949	6,318,071	747,878
諸 謝 金	3,272,257	2,985,315	286,942
理 事 費	213,650	105,086	108,564
借 室 光 熱 費	2,327,953	2,251,127	76,826
旅 費 ・ 交 通 費	275,422	220,890	54,532
備 品 費	21,802	0	21,802
リ ー ス 料	96,360	96,360	0
福 利 厚 生 費	39,920	0	39,920
公 租 公 課	70,000	70,000	0
雑 費	748,585	589,293	159,292
経常費用計	17,162,832	14,335,139	2,827,693
当期経常増減額	△ 1,848,793	△ 133,164	△ 1,715,629
当期一般正味財産増減額	△ 1,848,793	△ 133,164	△ 1,715,629
一般正味財産期首残高	8,953,721	9,086,885	△ 133,164
一般正味財産期末残高	7,104,928	8,953,721	△ 1,848,793
II 正味財産期末残高	7,104,928	8,953,721	△ 1,848,793



## 財 産 目 録

2025年3月31日現在

(単位 : 円)

科 目	金 額		
I. 資 産 の 部			
1. 流 動 資 産			
現金預金			
現金	7,578		
普通預金			
三菱UFJ銀行 渋谷支店	9,091,283		
未収会費			
法人会員 2件	210,000		
未収金			
2024年度分	352,495		
前払費用			
家賃2025年4月分	190,190		
仮払金			
2025年度経費他	172,027		
流動資産合計		10,023,573	
2. 固 定 資 産			
(1) その他固定資産			
差入保証金			
事務所敷金	646,000		
固定資産合計		646,000	
資産合計			10,669,573
II. 負 債 の 部			
1. 流 動 負 債			
預り金			
源泉所得税 従業員等	26,121		
未払金			
法人税等 千代田都税事務所	70,000		
2024年度経費	22,524		
	92,524		
前受会費			
法人会員 37件	2,310,000		
個人会員 128件	1,136,000		
	3,446,000		
流動負債合計		3,564,645	
負債合計			3,564,645
正味財産			7,104,928

## 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

#### ① 計算書類及びその附属明細書の作成基準

一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して作成している。

#### ② 固定資産の減価償却の方法

##### (1) 有形固定資産

定額法による減価償却を実施している。

#### ③ 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込方式による。

## 収 支 計 算 書

2024年4月1日から2025年3月31日まで

(単位 : 円)

科 目	予算額	決算額	差異	備考
<b>I 事業活動収支の部</b>				
1. 事業活動収入				
①法人会費収入	8,795,000	8,550,000	245,000	
②個人会費収入	2,538,500	2,575,000	△ 36,500	
③事業収入	350,000	373,360	△ 23,360	
④受託調査・セミナー収入	52,000	85,300	△ 33,300	
⑤広告収入	320,000	220,000	100,000	
⑥フォーラム収入	250,000	250,000	0	
⑦雑収入	1,300,100	3,260,379	△ 1,960,279	
受 取 利 息	100	6,117	△ 6,017	
雑 収 入	1,300,000	3,254,262	△ 1,954,262	
事業活動収入計	13,605,600	15,314,039	△ 1,708,439	
2. 事業活動支出				
①事業費	7,833,000	10,096,883	△ 2,263,883	
諸 謝 金 支 出	3,850,000	3,878,491	△ 28,491	
印 刷 費 支 出	2,235,000	2,255,000	△ 20,000	
通 信 費 支 出	588,000	675,484	△ 87,484	
フ ォ ー ラ ム 経 費 支 出	160,000	115,200	44,800	
雑 費 支 出	1,000,000	3,172,708	△ 2,172,708	
②管理費	6,970,000	7,065,949	△ 95,949	
諸 謝 金 支 出	3,000,000	3,272,257	△ 272,257	
理 事 費 支 出	100,000	213,650	△ 113,650	
借 室 光 熱 費 支 出	2,300,000	2,327,953	△ 27,953	
旅 費 ・ 交 通 費 支 出	500,000	275,422	224,578	
備 品 費 支 出	100,000	21,802	78,198	
リ ー ス 料 支 出	100,000	96,360	3,640	
福 利 厚 生 費 支 出	0	39,920	△ 39,920	
公 租 公 課 支 出	70,000	70,000	0	
雑 費 支 出	800,000	748,585	51,415	
事業活動支出計	14,803,000	17,162,832	△ 2,359,832	
事業活動収支差額	△ 1,197,400	△ 1,848,793	651,393	
<b>II 投資活動収支の部</b>				
差 入 保 証 金 支 出	0	21,000	△ 21,000	
投資活動支出計	0	21,000	△ 21,000	
投資活動収支差額	0	△ 21,000	21,000	
当期収支差額	△ 1,197,400	△ 1,869,793	672,393	
前期繰越収支差額	8,328,721	8,328,721	0	
次期繰越収支差額	7,131,321	6,458,928	672,393	

## 収支計算書に対する注記

収支予算書及び収支計算書は「公益法人会計における内部管理事項について」（平成17年3月23日公益法人等の指導監督等に関する関係省庁連絡会議幹事会申合せ）に準拠して作成している。

### 1 重要な会計方針

#### (1) 資金の範囲について

現金預金、未収会費、未収金、前払費用、前払金、仮払金、預り金、未払金、仮受金、前受会費、前受金を含めている。

なお、前期末及び当期末残高は、下記2に記載する通りである。

#### (2) 消費税等の会計処理について

消費税等の会計処理は税込方式によっている。

### 2 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期末残高
現金預金	9,516,418	9,098,861
未収会費	140,000	210,000
未収金	560,000	352,495
前払費用	185,500	190,190
仮払金	248,377	172,027
合 計	10,650,295	10,023,573
預り金	16,268	26,121
未払金	120,306	92,524
前受会費	2,183,000	3,446,000
前受金	2,000	0
合 計	2,321,574	3,564,645
次期繰越収支差額	8,328,721	6,458,928

2025 年 6 月 3 日

## 監査報告書

一般社団法人 ラテンアメリカ協会  
会長 佐々木 幹夫 殿

一般社団法人 ラテンアメリカ協会

監事 岩見 元子

監事 牧内 博幸

私ども監事は、2024 年度の一般社団法人ラテンアメリカ協会の事業報告書、計算書類および附属明細書、理事の職務執行の監査について、次のとおり報告いたします。

### 1 監査の方法及びその内容

監査の方法は、理事会その他の重要な会議（リモート）に出席するほか、電磁的方法等で、理事等から事業報告を聴取、また重要書類を閲覧し業務の執行状況を監査し、各種計算書類と関連資料（財産目録等）、その他重要な決裁文書及び報告書の閲覧・確認するなど、必要と思われる監査を行いました。

### 2 監査の結果

- (1) 事業報告書および附属明細書は、法令及び定款に従い当法人の状況を正しく表示していることを確認いたしました。
- (2) 貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録、収支計算書およびその附属明細書は、会計帳簿の記載と合致し、本法人の収支及び財産の状況を適正に表示されていることを確認いたしました。
- (3) 理事の職務遂行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はないものと認めます。
- (4) 当法人の業務の適正を確保するために必要な体制の整備等についての理事会の決議の内容は相当です。

以上

(署名)

岩見 元子 

(署名)

牧内 博幸 

## 2025（令和7）年度事業計画案

### 1. 基本方針

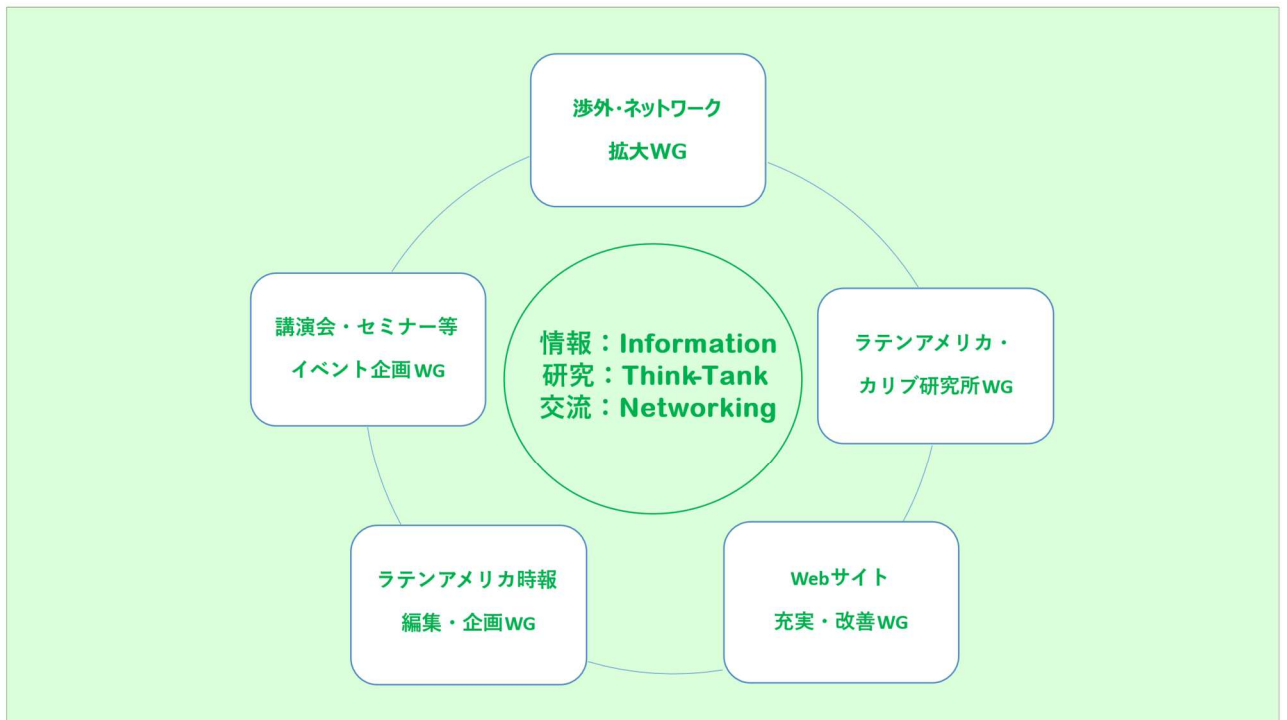
（1）近年の国際政治・経済情勢の変動は、ラテンアメリカ・カリブ地域の地政学的重要性を一層高めており、日本としても同地域との関係強化を戦略的に推進する必要がある。当協会は、この新たな時代における要請に応えるべく、独自の事業を通じて積極的に貢献する。

（2）そのため、当協会としては、今後とも次の3つを主たる活動領域とし、その各領域でラテンアメリカに関するハブ（結節点）としての役割を強化する。

- ① ラテンアメリカ・カリブ関連情報の集積と発信－「情報」（Information）
- ② ラテンアメリカ・カリブ情勢等の研究と提言－「研究」（Think-Tank）
- ③ ラテンアメリカ・カリブに関する出会いと交流の場の提供－「交流」（Networking）

（3）上述の活動を推進する上で、2022年度半ばから5つのワーキング・グループ（WG：図参照）での検討をベースに常務理事会で協議を行い、事業の推進を図ってきた。既にこの活動が軌道に乗ってきたので、今年度もこの体制で活動の一層の充実を図り、理事会および会員総会の趣意を実現していく。

また、協会活動発展に対応した財務面や体制面の強化についても引き続き検討を進める。



## 2. 主要な事業計画（WG に即して）

### （1）渉外・ネットワーク拡大

- ① 協会活動のより一層の発展のための体制の強化と収入の増大
- ② 担当理事制による既存法人・個人会員との関係強化の継続
- ③ 新規法人・個人会員の勧誘活動の強化。年間目標は法人 3 社、個人 15 名のネット増。
- ④ 要省庁・政府系機関との関係強化
- ⑤ 駐日ラテンアメリカ・カリブ大使館との協力拡大
- ⑥ 大学・研究機関との関係強化
- ⑦ 日商、経団連（特に国別経済委員会）との関係強化
- ⑧ 2024 年 12 月 26 日に岩屋毅外務大臣に申し入れた政策提言をフォローアップし、これを通して上記取り組みの実現を図る。

## **(2) Web サイト充実・改善**

- ①ホームページの継続的な充実・改善（デザイン・コンテンツ・掲載方法等の見直し）
- ②ホームページ発信体制の強化（WGと事務局との連携、ホームページのモニタリング等）
- ③メールマガジンの継続的改善（コンテンツ、配信範囲等）
- ④SNSによる発信（事務局の体制と発信コンテンツを勘案しつつ活用）

## **(3) 講演会・セミナー等イベント企画**

- ①政治、経済はじめ社会、文化、スポーツなど幅広い分野をテーマとするイベント（講演会等）  
実施。企画準備を早めに行い、イベントの告知・広報を強化し、視聴者数の増加を図る。
- ②オンラインの活用により在外居住講師による現場感ある講演の実施。
- ③懇談会、ラウンドテーブル、ワークショップなど肩肘張らない対面イベント（法人会員、駐日大使、  
地方関連団体、日系団体、スタートアップ企業など）の実施。
- ④新春懇談会、ラテンアメリカサロン、トップセミナーの継続開催

## **(4) 『ラテンアメリカ時報』編集・企画**

- ①編集・企画 WG の円滑な活動を通じ、持続的かつ機能的な編集・発行体制を維持・強化。
- ②誌面の構成・内容を、会員の関心・ニーズに応えるよう、常時見直し改善。
- ③「ラテンアメリカ・カリブの今を伝える～最新トレンドを現場感覚で」とのコンセプトで開始した複数の  
新連載を引き続き充実。

## **(5) ラテンアメリカ・カリブ研究所**

- ①研究所レポートの公開促進
- ②講演会および大来記念政策フォーラムの企画と実施



③リサーチフェローの増員による研究体制の拡充

④リサーチ・アソシエートの増員による若手研究者の育成

## (6) 事務局

事業拡大に対応する体制・機能の強化

以上

t

一般社団法人 ラテンアメリカ協会

## 2025年度 収支予算書

2025年4月～2026年3月

(単位 : 円)

科 目	予算額	決算額	差異	備考
<b>I 事業活動収支の部</b>				
1. 事業活動収入				
①法人会費収入	9,250,000	8,550,000	700,000	
②個人会費収入	2,544,000	2,575,000	△ 31,000	
③事業収入	490,000	373,360	116,640	
④受託調査・セミナー収入	80,000	85,300	△ 5,300	
⑤広告収入	220,000	220,000	0	
⑥フォーラム収入	250,000	250,000	0	
⑦雑収入	3,916,200	3,260,379	655,821	
受 取 利 息	6,200	6,117	83	
雑 収 入	3,910,000	3,254,262	655,738	
事業活動収入計	16,750,200	15,314,039	1,436,161	
2. 事業活動支出				
①事業費	9,534,199	10,096,883	△ 562,684	
諸 謝 金 支 出	4,270,000	3,878,491	391,509	
印 刷 費 支 出	2,260,000	2,255,000	5,000	
通 信 費 支 出	680,000	675,484	4,516	
旅 費 ・ 交 通 費 支 出	0	0	0	
フ ォ ー ラ ム 経 費 支 出	115,000	115,200	△ 200	
受 託 事 業 費 支 出	0	0	0	
雑 費 支 出	2,209,199	3,172,708	△ 963,509	
②管理費	7,860,000	7,065,949	794,051	
諸 謝 金 支 出	3,520,000	3,272,257	247,743	
理 事 費 支 出	200,000	213,650	△ 13,650	
借 室 光 熱 費 支 出	2,330,000	2,327,953	2,047	
旅 費 ・ 交 通 費 支 出	500,000	275,422	224,578	
備 品 費 支 出	100,000	21,802	78,198	
リ ー ス 料 支 出	100,000	96,360	3,640	
福 利 厚 生 費 支 出	240,000	39,920	200,080	
公 租 公 課 支 出	70,000	70,000	0	
雑 費 支 出	800,000	748,585	51,415	
事業活動支出計	17,394,199	17,162,832	231,367	
事業活動収支差額	△ 643,999	△ 1,848,793	1,204,794	
<b>II 投資活動収支の部</b>				
差 入 保 証 金 支 出	0	0	0	
差 入 保 証 金 支 出	0	21,000	△ 21,000	
投資活動支出計	0	21,000	△ 21,000	
投資活動収支差額	0	△ 21,000	21,000	
<b>II 予備費支出</b>				
予 備 費 支 出	0	1,050,000		
	0	1,133,000		
当期収支差額	△ 643,999	△ 1,869,793	1,225,794	
前期繰越収支差額	6,458,928	8,328,721	△ 1,869,793	
次期繰越収支差額	5,814,929	6,458,928	△ 643,999	

# 一般社団法人ラテンアメリカ協会 2025年度 理事・監事候補<五十音順>

(理事：○新任 2、●退任 2、◎2年任期2年目) 【監事：△新任 1、▼退任 1、▲2年任期2年目】

理事	◎	稲葉 公彦	スズキ(株)四輪中東・アフリカ部主査、元日本貿易振興機構(JETRO)メキシコ事務所長
理事	◎	工藤 章	元三菱商事(株)理事
理事	◎	桑山 幹夫	神戸大学経済経営研究所フェロー、元CEPAL上級経済問題担当官
理事	◎	今野 秀洋	元日本貿易保険理事長、元経済産業審議官
理事	◎	桜井 敏浩	徳倉建設(株)特別顧問
理事	◎	佐々木 幹夫	元三菱商事(株)会長
理事	◎	佐々木 聡	国際協力銀行(JBIC)常務執行役員/産業ファイナンス部門長
理事	◎	佐藤 悟	元駐ブラジル・スペイン大使
理事	○	芹生 太郎	米州開発銀行アジア事務所長
理事	◎	山東 理二	元千代田化工建設(株)社長、前(一財)エンジニアリング協会理事長
理事	○	関 知久	事務局長、元東京海上日動火災保険株式会社ベネズエラ首席駐在員
理事	◎	瀧川 晴信	株式会社三菱UFJ銀行 経営企画部 情報戦略室長
理事	◎	田中 秀治	前米州開発銀行アジア事務所長、中曽根康弘世界平和研究所主任研究員
理事	◎	濱口 伸明	神戸大学経済経営研究所教授
理事	◎	笛田 千容	駒澤大学 総合教育研究部外国語第二部門(スペイン語)准教授
理事	◎	古谷 朋彦	元駐グアテマラ大使、元日本貿易振興機構(JETRO)監事
理事	●	堀坂 浩太郎	上智大学名誉教授
理事	●	峯苔 彰悟	元中国三菱商事(北京)金属部長、元伯国三菱商事リオデジャネイロ支店
理事	◎	村上 秀徳	元駐チリ大使、元農林水産審議官
理事	◎	山岸 豊生	日本キューバ経済懇話会 専務理事、前豊田通商(株)渉外部中南米地域担当部長
理事	◎	山田 彰	外務省参与、元駐ブラジル・メキシコ大使
理事	◎	吉田 憲	国際協力機構(JICA)コスタリカ所長、元JICA中南米部長、元九州大学教授
監事	▼	岩見 元子	元(一財)海外投融資情報財団 上席特別研究員
監事	▲	牧内 博幸	東京理科大学国際化推進センター長、前駐ドミニカ共和国大使
監事	△	峯苔 彰悟	元中国三菱商事(北京)金属部長、元伯国三菱商事リオデジャネイロ支店

＜参考＞ 2025年度理事・監事名簿

(2025年6月総会・理事会以降)

会長（代表理事）	佐々木 幹夫	三菱商事（株）元会長
副会長・専務理事	佐藤 悟	元駐ブラジル・スペイン大使
副会長・研究所長	濱口 伸明	神戸大学経済経営研究所教授
常務理事（事務局長）	関 知久	元東京海上日動火災保険株式会社ベネズエラ首席駐在員
常務理事	稲葉 公彦	ススキ（株）四輪中東・アフリカ部主査、元日本貿易振興機構（JETRO）メキシコ事務 所長
常務理事	山東 理二	元千代田化工建設（株）社長、前（一財）エンジニアリング協会理事長
常務理事	山岸 豊生	日本キューバ経済懇話会 専務理事、前豊田通商（株）渉外部中南米地域担当部長
常務理事	山田 彰	外務省参与、元駐ブラジル・メキシコ大使
理事	工藤 章	元三菱商事（株）理事
理事	桑山 幹夫	神戸大学経済経営研究所フェロー、元CEPAL上級経済問題担当官
理事	今野 秀洋	元日本貿易保険理事長、元経済産業審議官
理事	桜井 敏浩	徳倉建設（株）特別顧問
理事	佐々木 聡	国際協力銀行（JBIC）常務執行役員/産業ファイナンス部門長
理事	芹生 太郎	米州開発銀行アジア事務所長
理事	瀧川 晴信	株式会社三菱UFJ銀行 経営企画部 情報戦略室長
理事	田中 秀治	前米州開発銀行アジア事務所長、中曽根康弘世界平和研究所主任研究員
理事	笛田 千容	駒澤大学 総合教育研究部外国語第二部門（スペイン語）准教授
理事	古谷 朋彦	元駐グアテマラ大使、元日本貿易振興機構（JETRO）監事
理事	村上 秀徳	元駐チリ大使、元農林水産審議官
理事	吉田 憲	国際協力機構（JICA）コスタリカ所長、元JICA中南米部長、元九州大学教授
監事	牧内 博幸	東京理科大学国際化推進センター長、前駐ドミニカ共和国大使
監事	峯苔 彰悟	元中国三菱商事（北京）金属部長、元伯国三菱商事リオデジャネイロ支店

顧問

顧問	伊藤 昌輝	前日本ベネズエラ協会会長、元駐ベネズエラ大使
顧問	稲葉 裕	大阪ガス株式会社 資源・海外事業部 事業部長補佐 兼 事業開発統括、JBIC出身
顧問	岩見 元子	元（一財）海外投融資情報財団 上席特別研究員
顧問	遅野井 茂雄	筑波大学名誉教授
顧問	小淵 優子	衆議院議員、日本中南米友好議員連盟会長
顧問	桜井 佛司	元関西外国語大学教授、元日本貿易振興機構（JETRO）監事
顧問	田中 克之	（公財）海外日系人協会理事長、元駐スペイン・メキシコ大使
顧問	田中 径子	株式会社ニッスイ社外取締役、株式会社商船三井社外取締役、元駐ウルグアイ大使
顧問	寺田 輝介	元駐韓国・メキシコ大使、元（公財）フォーリン・プレスセンター理事長
顧問	富田 宏	イー・アール・エム日本（株）パートナーLow Carbon Economy Transition (LCET)
顧問	細野 昭雄	国際協力機構（JICA）緒方研究所シニア・リサーチ・アドバイザー、元駐エルサルバドル大使
顧問	堀坂 浩太郎	上智大学名誉教授

## 第 6 号議案：定款の変更（第 27 条 顧問）

### 顧問数の変更（増員）

提案理由：

協会の運営体制の強化のため

定款変更内容：

第 27 条（顧問）に関する以下下線部分の変更

（第 2 項以降は変更なし）

変更前	変更後
第 27 条 この法人に、任意の機関として、 <u>10</u> 名以下の顧問を置くことができる。	第 27 条 この法人に、任意の機関として、 <u>15</u> 名以下の顧問を置くことができる。

<参考：第 2 項以下>

- 2 顧問は理事会から諮問された協会運営に関する事項について助言を行う。
- 3 顧問の選任及び解任は、理事会において決議する。
- 4 顧問の報酬は、無償とする。
- 5 顧問の任期は、選任後 2 年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時会員総会の終結の時までとする。

✕

< ブランク >